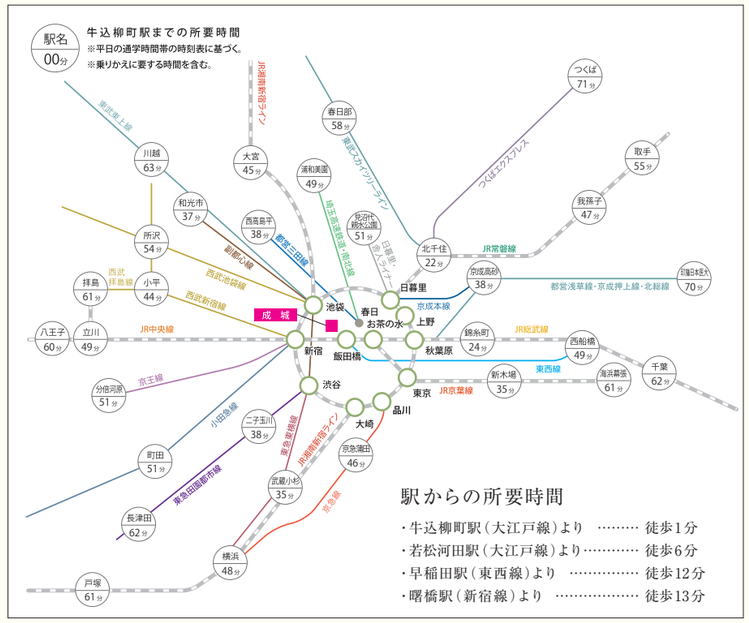
ACCESS



都営大江戸線路線図

周辺図

2021年度説明会

【要予約】（本校公式サイトより申込）

〈学校見学会〉11:00～12:15

- 5月29日（土）
- 6月12日（土）
- 6月26日（土）

〈学校説明会〉11:00～12:15

- 9月25日（土）
- 10月13日（水）
- 10月30日（土）
- 11月13日（土）
- 12月　1日（水）

2022

- 1月12日（水）

〈文化祭〉

- 9月18日（土）・19日（日）

※上記日程は変更になることがあります。
※詳細は本校公式サイトでご確認ください。

成城中学校・成城高等学校
SEIJO JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL
〒162-8670 東京都新宿区原町3-87
TEL.03-3341-6141　FAX.03-3341-3165
http://www.seijogakko.ed.jp

成城

成城中学校・成城高等学校

SEIJO JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

学校案内2022

受け継がれる伝統

臨海学校

成城には「あこがれ」という伝統があります。例えば、90年以上の伝統がある、臨海学校。

参加する中学１年生の命を守るために、高校２年生の各クラブの精鋭たちが指導の補助をしています。彼らは、泳ぎの指導だけでなく、安全な修技のために様々な業務をこなしてくれています。後輩のために、力強く働く先輩たちの姿は、中１のあこがれの存在。良い手本となっています。

成城は、絆を深め人間的に成長できる場であふれています。生徒たちは色々な先輩にあこがれながら、自己の個性と能力を伸ばし、自ら考え行動する次世代を担うリーダーに育っていきます。

撮影協力：ニシフォト

次世代のリーダーの育成

エンパワーメント・プログラムにて

グローバル教育

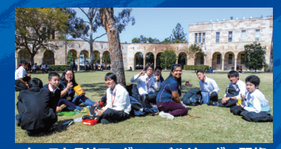
グローバル化が進む世界で20年後30年後の時代を担っていく生徒たちには、新たなリーダー教育が必要です。海外経験を得ることや、英語を話せることも大切ですが、それよりも大切なのは、「自己」を確立することです。

本校では「自己の確立」を最終目的とした、校内や海外で行う、大小様々な研修プログラムがあります。これらの研修を通して、生徒たちは文化や価値観の異なる多様な人々と英語をツールとして対話し、チームでの議論・企画・発表を通して、自分を表現する力を養っています。

成城では、これからの時代をたくましく生きる人間力の高いリーダーを育成しています。

エンパワーメント・プログラム

カリフォルニア大学など、世界のトップ校の学生を本校に招いて行う、自己確立のための研修です。（希望者対象）



オーストラリア・グローバルリーダー研修

自らのリーダーシップを高めることを目指して様々なミッションに立ち向かう本校独自の研修です。（希望者対象）

台湾・グローバルリーダー研修

台湾の大学の講義を受講し、現地の学生と交流し、どのようにグローバル社会で貢献するか考えるプログラムです。（希望者対象）

JETプログラム

本校はＪＥＴプログラムに参加しており、英語を母語とする２名の青年が指導の補助をしています。

※JETプログラム…語学指導等を行う外国青年招致事業

成城の6年間

中学1年生 | 中学2年生

基礎学力養成期

教わる姿勢から、自ら学ぶ姿勢に転換する時期です。机に向かい、考え、調べて、解決する、学習習慣の確立を目指します。

中学3年生 | 高校1年生

進路　決定期

将来の目標を明確に図ります。職業研究やの適性を認識し、文理し、学習意欲の向上を模試などを通して、自分選択を行います。

高校2年生 | 高校3年生

実力完成期

難関大学合格を目指して本格的に受験体制に入ります。通常授業と進学講習を通して、実力の完成を目指します。

TEACHERS' VOICES

「やってみる」人になってほしい

難解な数学の定理や英語の構文は、それ自体が将来役立つものではありません。けれども、それらを習い覚える過程の苦労や身につく粘り強さ、知り得たことを駆使して答えにたどり着いたときの喜びは他の場面でもきっとその人の助けになります。ですから、生徒たちにはあれこれ考え、いろいろやってみる人になってほしいと思っています。

松田 有由

英語科
中2学年担任
バドミントン部・
釣り同好会顧問

失敗こそが成長の鍵 考えて成長してほしい

生徒は色々な失敗をしますが、この失敗が成長の鍵だと考えています。「失敗→考える」というプロセスこそが「学習」であり、この繰り返しで人は成長します。クラスでもクラブでも、あえて手を差し伸べすぎず、普段から考えて行動するよう促しています。失敗を恐れず、自分で考えて責任ある行動をとれる人間に育ってほしいです。

鈴木 啓文

数学科
高1学年担任
中学野球部・
高校野球部・
スキー同好会顧問

努力が実る時期になってほしい

高2で身に付けた基礎知識をベースに、高3では演習中心の授業を展開していきます。まだ幼いと思っていた生徒が、はっきりと自分の意思を述べ、進路実現に向けて具体的な努力を重ねていく様は、見ごたえがあります。私の教える化学では、他の子に教えながら自らの学びを深めていく様子も見て取ることができます。

嶋野 直史

理科
高3学年担任
中学サッカー部・
高校サッカー部顧問

成城の教育 ～ 教育・学習体制 ～

2021年 成城は中高完全一貫校に

教育の「質の向上」と「特色化」

発達段階に応じた 3期の学習体制	発達段階に応じた 「探究型学習」の構築	新学習指導要領に対応した 独自授業の設置

◎ 進学指導係主任より

進学指導係主任　有阪 喜一郎

本校は中高完全一貫校となり、改革が進んでいます。その根幹として重視しているのは「自学自習」の習慣形成です。本校の校訓・校歌では「自学自習」をうたい、「学習十五則」の第一則では「常に自ら学習する習慣を作る」ことを強調しています。こうした習慣形成は、ラーニング・ソサエティ（学習を続ける社会）の到来とともに、より求められるようになるでしょう。本校の進路指導は、「やり抜く力」を鍛える男子伝統教育をベースに、自学自習の習慣形成を促し、多様な志望に応えたいと考えています。

◎ 6年間の学習体制

中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	高校3年生
基礎学力養成期		進路決定期		実力完成期	
学力均等のクラス分け				文系 理系	
※習熟度別の授業はなし				※一部の科目で習熟度別授業	
他律的学習から自律的学習へ				自学自習の実践	
生活習慣形成 学習習慣形成 居残り補習 指名制補習		自己分析 職業研究 探究学習		大学学部研究 進学講習 模擬試験 生徒活動の中心	
挑戦と失敗		やり抜く力		希望する進路実現	

■ 独自授業の設置

学習指導要領の改訂をふまえ、3つの独自授業を設定し、様々な形で「表現力」の強化を図っています。

・数学統計（中1）
これからのビッグデータ時代に必要不可欠な統計分析の基礎を学ぶ

・国語表現（中3）
話し合ったり、発表したりといったような「実践」を通して表現力を学ぶ

・英語表現（高1・高2）
ネイティブ教員によるライティング授業。中学の「英会話」からの継続で、英語をツールとして表現力を学ぶ

■ 探究型学習

自分でテーマを設定し、調べ、結果を考察する探究的な取り組みが、中1から社会科（環境地図の作成）や理科（生き物の観察）など様々な教科で行われており、生徒の学びのモチベーションにつながっています。

■ ICT化の促進

ホームルームの全教室にプロジェクターが設置され、全教員にタブレット端末が用意されています。様々な資料を画面で見せたり、電子黒板として書き込んだりと、授業での表現力が向上しています。

■ 習熟度別授業

高校3年生の「英語」「数学」「理科」の演習科目において、習熟度別のクラスを導入しています。大学入試の多様化に対応すべく、「数学演習」では文系と理系が同じ授業を受講できるようになっています。

■ 進学講習

高校では夏期と冬期に進学講習が開講され、教材費などを除いて、無料で受講できます。入試問題演習や、苦手分野の復習、英検対策など、細分化されており、一部の講座は学年の枠を越えて受講できます。

■ コロナ禍におけるオンライン体制の構築

2020年度当初の緊急事態宣言を受け、Google Classroomを活用したオンライン授業体制を構築しました。各授業の「クラス」開設により、動画や課題の配信が可能です。オンラインによるホームルームも可能です。2020年度はこれにより5月中旬より始業し、分散登校が終わる6月末までオンデマンド動画による授業を展開しました。

成城の行事 ～ 年間行事紹介 ～

本校では行事も大切な学習機会と考えています。
林間学校・臨海学校を、全国に先駆けて開設したのも本校であり、
今日までその伝統は脈々と受け継がれています。

※日程は変更になることがあります。

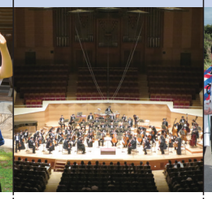
4 APRIL

・入学式・始業式・対面式
・新入生オリエンテーション
・新入生歓迎会

5 MAY

・春季校外課業（遠足）
・５月考査（中間試験）
・春の中学行事（中学）
・プール開き

6 JUNE



・実用英語技能検定（高３）
・春の視聴覚行事
・進路講演会（高２）

7 JULY

・７月考査（期末試験）
・体育祭（高校）
・臨海学校（中１）
・林間学校（中２）
・発展講習（中３）
・夏期進学講習（高校）

8 AUGUST

・各クラブ夏期合宿
・エンパワーメント・プログラム（中３～高２希望者）

9 SEPTEMBER

・文化祭

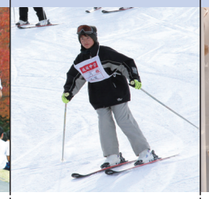
10 OCTOBER

・運動会（中学）
・10月考査（中間試験）
・秋の中学行事（中学）

11 NOVEMBER

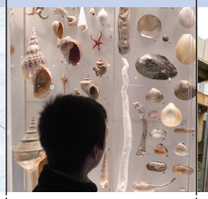
・マラソン大会
・秋の視聴覚行事

12 DECEMBER



・12月考査（期末試験）
・発展講習（中３）
・冬期進学講習（高校）
・スキー学校（中２希望者）

1 JANUARY



・創立記念日
・講座制授業（高３）
・実用英語技能検定
（中１～高２）

2 FEBRUARY

・中学入学試験

3 MARCH

・３月考査（期末試験）
・修学旅行（中３・高２）
・中３を送る会（中学）
・中学・高校卒業式
・修了式
・オーストラリア・グローバルリーダー研修（中３～高２希望者）
・台湾・グローバルリーダー研修（高１・２希望者）

◎ 行事PICK UP

中学行事（社会科見学）

年２回、中間試験の翌日に行います。本校周辺の大学や研究施設、博物館や美術館を班で散策し、感性や地図を見る力を育みます。

体育祭（高校）

生徒会が運営する学年別クラス対抗の球技大会です。最後には全員リレーを行います。クラスの親睦を深める絶好の機会になっています。

林間学校（中2）

大正７年に開設された伝統行事です。林業体験などに加え、近年では農村のご家庭にお邪魔しています。人と自然の関わりを学びます。

文化祭

生徒たちが主体となって運営し、クラス企画や、文化部の研究発表、運動部の招待試合、有志団体など、全生徒が参加する大きな行事です。

講演会

卒業生や外部講師を招いて多種多様な講演会を実施しています。受験勉強の取り組み方や進路決定、大学での研究分野などの話は、生徒の進路決定に役立っています。

修学旅行（中３・高２）

３泊４日で実施され、歴史・文化・自然を学びます。高校では複数コースから選択することもあります。近年では沖縄・関西・九州・中国地方で行っています。

成城生の1日

登校

都営大江戸線 牛込柳町駅より徒歩１分。信号の無い落ち着いた通学路です。

ホームルーム

08：30～08：40

朝、担任の先生から出席のチェックを受けてから、１日が始まります。

午前の授業

08：40～12：30

午前は10分の休憩時間をはさみ、50分の授業が４時限あります。

昼休み

12：30～13：10

持参の弁当や学食をカフェテリアなどで楽しく食べています。

午後の授業

13：10～15：00

午後は50分の授業が２時限あります。授業第一！みんな真剣です。

ホームルーム・掃除

15：00～

帰りのホームルームの後は、掃除です。大切な教室を自分たちできれいに。

部活動

15:30～ ※18：30完全下校

放課後はクラブ活動で校内が活気づきます。※冬期は17:30完全下校。

多彩なクラブ活動

運動部

中学硬式テニス部	柔道部	高校硬式テニス部	山岳部（高校のみ）
中学サッカー部	水泳部	高校サッカー部	自転車競技部（高校のみ）
中学バスケットボール部	体操部	高校相撲部	ラグビー部（高校のみ）
中学バレーボール部	卓球部	高校バスケットボール部	
中学野球部（軟式）	陸上競技部	高校バレーボール部	
剣道部	バドミントン部	高校野球部（硬式）	

文化部

囲碁部	吹奏楽部
演劇部	速記部
科学部	地理研究部
合唱部	鉄道研究部
写真部	美術部
ジャグリング部	放送部

同好会

中学相撲同好会	スキー同好会
古典ギター同好会	釣り同好会
将棋同好会	文芸同好会
数学研究同好会	歴史研究同好会

先輩

上治 正太郎

2021年卒・135期生
慶應義塾大学 理工学部 入学
吹奏楽部 前部長

後輩

馬場 靖也

高3・136期生
吹奏楽部 部長

SEIJO STORIES

吹奏楽部は高2の年度末の「定期演奏会」をもって引退。2020年に開催が中止になってしまった先輩と、翌年開催できた後輩が、お互いの思いを語りました。

「先輩」×「後輩」

上治：今回の定期演奏会、自分たちも演奏させてくれてありがとう。準備大変だったでしょ。

馬場：緊急事態宣言もあって全員での練習が4日しかなかったですけど、何とかなりました。

上治：自分の代は中止になっちゃって、引退したかどうかうやむやな感じになっちゃったから。やれてよかったね。

馬場：今年は学校で話し合いをする時間がなかったので、曲目を決めるのもチャットで話しました。オンライン上で大人数で話したら、時間かかっちゃいました。

上治：学校によっては顧問が選曲するところもあるけど、成城は自分たちで決めるからいいよね。自主性に任せているところが多いよね。

馬場：吹奏楽部は特に自分たちで決めることが多い部なのかなと思います。意見が反映されるのがいいですね。

上治：中1から高2までが一緒になって活動していて、みんな意見が言いやすいのもあるよね。まとめるの大変だけど。

馬場：先輩後輩間の仲がいいですよね。後輩は年下の友達という感じがしていました。後輩も、先輩に対して敬語を忘れちゃうこともよくありますよね。

上治：それはよくあるね（笑）。

馬場：先輩に質問しやすい環境がいいと思います。楽器演奏の技術向上には、先輩から教えてもらう機会が必ず必要で、みんながその経験をする。交流の機会が多いのがいい。

上治：教わったらまた後輩にそれを教える、そのサイクルが代を重ねて続いていくんだよね。

馬場：時に後輩から教えられることもありますよね。

上治：そうだね。信頼関係が築けているから上下関係なく意見が言える。自分も思ったことは何でも言ってたなぁ。けんかっぽくなっても仲直りできる自信があったよ。

馬場：今回、顔を合わせて意見交換ができなかったことも多かったので、信頼関係が築けているのは大きいなと思いました。

馬場：吹奏楽部の活動は受験勉強に役立ちましたか？参考にさせてください。

上治：楽器演奏は基礎練習ができてこそ曲の演奏ができる。勉強も同じだと思う。基礎をきっちりやること。基礎の組み合わせで応用ができる。部活でも勉強でもその思考が身に付いたかなと思う。

馬場：自分は、勉強と部活と似てるなと思ったことは、どういう聞かれ方をしているかが大事だということです。ひとりよがりになっていないかなと気配りするようになりました。音楽って気配り大切だから。

上治：あと、自己分析力も付いたかなと思う。楽器の練習を通して、足りないところを見つけて集中的に練習する。

馬場：自分を客観視するっていう感じですよね。

上治：あと直接的には、物理の授業での音の分野とか、化学の授業で金管楽器は合金でできているとか教わったり、授業とリンクして興味を持つようになったよ。

馬場：先輩、自分文系なんですけど…（笑）。でも、楽譜上の英語を翻訳するときなんかは直接、英語の勉強になりましたね。

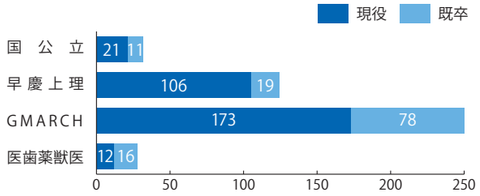
上治：あぁ！そんなこともあったね。

上治：1年たってステージに立つことができて、ステージからの景色を見ることができて、とても感慨深かったよ。引退の機会を作ってくれてありがとう。大学生活に向けて区切りがついたよ。

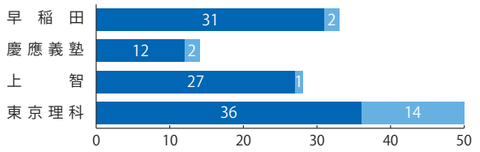
馬場：やった！そう言ってもらえると嬉しいです。自分も受験勉強頑張ります。

進学状況

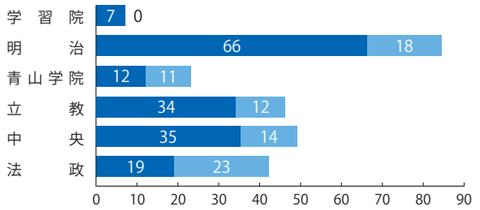
2021年
主要大学の合格状況（卒業生252名）



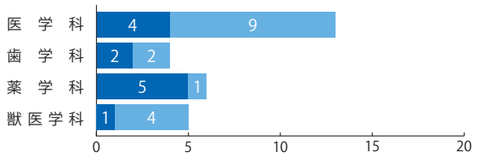
● 早慶上理



● GMARCH



● 医歯薬獣医学科



現役合格率
82.1%

現役進学率
69.4%

早稲田・慶應
47名（現役43名）

国公立大学
32名（現役21名）
※大学校 5名を含む

関関同立
22名（現役10名）

東京大学 1名（現役1名）
東京工業大学 1名（現役1名）
東北大学 1名（現役1名）

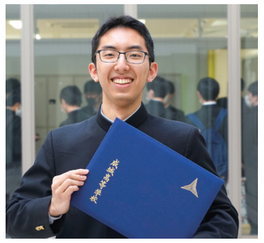
2021年 指定校推薦

大　学	推薦枠	進学者
早稲田	5	5
慶應義塾	1	1
上智	3	2
東京理科	9	3
学習院	9	4
明治	3	2
青山学院	2	1
立教	1	1
中央	8	1
法政	3	1
同志社	2	0
立命館	1	0
医学部医学科	5	2
歯学部歯学科	8	2
薬学部薬学科※6年制	16	0
その他	308	0
合計87大学	384	25

◎ 卒業生より

私は高校1年時の授業をきっかけに量子コンピュータに興味を持ちました。そして量子コンピュータを作りたいと思い、研究が進んでいる東京大学を志望しました。

自分で計画を立て、定期的に見直すことを繰り返しながら勉強していました。友達と一緒に勉強することや、先生方の励ましのおかげで、受験勉強を乗り切ることができました。主体的に受験勉強をしながら、周りと支え合うことができるのが成城の良いところだと思います。



柳田 琉成　2021年卒・135期生　東京大学 理科二類 入学

卒業生
小野 友誠
2021年卒・135期生
慶應義塾大学 経済学部 入学
中学野球部・高校バスケットボール部

先生
吉光 樹
国語科教諭
小野の高2・高3時担任
高校バスケットボール部顧問

SEIJO STORIES

もうすぐ大学に入学する卒業生が、
担任の先生を訪ね、これまでの受験生活の振り返りを語ってくれました。

「卒業生」×「先生」

吉光：合格おめでとう。まず志望校を慶應大学経済学部に決めた理由を教えてもらえるかな。

小野：正直、慶應にいけるとかっこいいなって思ったのが最初の理由です。それからは将来自分が何をやりたいかって考えて、高3の初めには経済学部に決めました。経済学部で学べることは将来役に立つと思ったからです。

吉光：受験勉強を本格的に始めたのはいつ頃なの？

小野：高3の5～6月くらいですかね。それまでは、コロナで部活ができなくて、気持ちの整理がつかず、本格的な受験勉強は始めていなかったんです。

吉光：コロナの影響で、最後の大会も開催されるかどうか宙ぶらりんな状況だったもんね。どうやって気持ちを受験に切り替えたの？

小野：僕はもっとバスケをやりたいと思っていたんです。でも、他の部員の意見を聞いていると、受験が終わったらバスケはいくらでもできるけど、現役の受験は一度きりだから、勉強にシフトしたいってみんな言っていて、確かにそうだなって思いました。

吉光：他の部員からの影響があったんだね。同じように部活を頑張っていて、高3の時に受験に向けて気持ちを切り替えた友人が多かったと思うんだけど、そういった友人の存在って大きかった？

小野：それはけっこう大きかったと思います。友達と近況を伝え合うことによって、自分が今どの位置にいるのか客観的に分かりました。それに、同じ志望校の友達は良きライバルでもありましたし。友達が周りにいることで、受験は一人じゃないって思えました。

吉光：受験勉強を本格的に始めたって言っていた5～6月頃って、コロナの影響でオンライン授業だったよね。どうだった？

小野：けっこうありがたかったですね。休校期間中は家で勉強してたんですけど、全然集中できなくて。でもオンライン授業の時間割が組まれて、みんなが参加しているのを見て、モチベーションが上がりました。

吉光：一番面白かったオンライン授業は？

小野：日本史演習ですかね。ライブ授業だったので、参加している他の人の顔が見れました。いろいろハプニングも起こったのですが、とても楽しい時間でした。

吉光：なるほど。学校が再開してからの授業はどのように活用していたの？

小野：高3になると、普段の勉強も受験勉強の一環だと思っていました。その中でも特に苦手な古文・漢文は集中して臨んでましたね。

吉光：いい考え方だね。小野は成城で文武両道を実践できていた人だと思うんだけど、どうバランスをとっていたの？

小野：中学時代は武の方に力を入れていました。文は考査前に一気に勉強する感じですかね。高校生になってからは、日頃から勉強を意識するようになりました。

吉光：自学自習だね。今振り返ってみて、この言葉が自分の中でしっくりくるのはいつ頃かな？

小野：高2の後半からですかね。この頃から模試の成績を気にするようになって、危機感を持ち始めたので、部活が終わった後や、塾が終わった後に自分で計画を立てて勉強するようになりました。

吉光：自学自習って諸刃の剣で、強制をしないわけだから、言い方を変えれば放任とも捉えられやすいんだよね。正直、自学自習って難しいと思う？

小野：中学時代には、自制することが難しかったので、自学自習も難しかったのが正直なところです。でも、中学の頃に賑やかだった友達とかが、成城での経験を通して、今何をしなければいけないか考えて、急に勉強し始めたりしました。成城では、様々なところでこういう変化が起こるので、「横の影響力」とでも言うんですかね？気付けば自学自習の意識が芽生えていましたね。

吉光：教員の力だけではなかなか作り出せない変化だよね。今後はOBとして、縦にも影響力を持てる先輩になって下さいね。今日は忙しい中、どうもありがとう！

施設・設備

◎ PICK UP

成城の防災

2015年に完成した新校舎は耐震性に優れ、新宿区の一時避難所に指定されています。災害時に備え、生徒・教職員全員の食糧・水・寝袋・簡易トイレを備蓄するとともに、私立学校の登下校時の緊急避難校ネットワークに加盟しています。緊急時の連絡は、公式サイトなどに加え、さくら連絡網という連絡サービスを利用しています。

■ 職員室

本校には、生徒とのコミュニケーションを重んじ、対話を通じて生徒を指導していく独自の文化が根付いています。そのため職員室は、対話する場としての機能を十分に果たせる設計になっています。全学年の教員がひとつの職員室内におり、各学年に生徒と対面できるカウンターが設置されています。さらに、テーブルとイスを備えた質問コーナーや、周囲の視線を気にせずに相談できる面談室も４室設置されています。休み時間や放課後になると大勢の生徒が職員室を訪れます。

グラウンド

ゴムチップ入りの人工芝に加え、陸上競技用のタータンコースも完備。

体育館

バスケットボールコートが２面とれ、観覧席もある大きな体育館。式典でも使用。

サブグラウンド

正門を入ると広がる砂入り人工芝の多目的グラウンド。

地下体育室

体操器具や音響機材を備え、授業では跳び箱やマット運動、卓球などで使用。

屋上

人工芝のコースとテニスコート１面を完備。

柔道場・剣道場

本校の武道は柔道を履修。
※写真は柔道場。

温水プール

25ｍ×６コースの屋外温水プール。５月末～９月末まで使用。

普通教室

冷暖房・加湿・熱交換換気・CO_2センサー・調光機能・プロジェクターを完備。

特別教室

物理・化学・生物・地理地学・音楽・美術・技術・調理・パソコンなど、専門教室を完備。

小講堂

講演会や保護者会、映画の上映など、幅広い用途で活用する545席の講堂。

イングリッシュ・ルーム

グループワークをしやすい机と発表用のステージとスクリーンを設置。

図書館

蔵書数３万５千冊。放課後は18時閉館。
※冬期は17時閉館。

カフェテリア

自然光の入る清潔感と開放感のある240席の食堂。軽食も販売。

自修館（自習室）

職員室と進路指導室と同じフロアにあり、学習や進路の相談がしやすい学習環境。

面談室・カウンセリング室

カウンセリング室では、スクールカウンセラーが成長過程における様々な悩みに対応。

STUDENTS' VOICES 【Q：どんな成城生活を送っていますか？】

中川 喜弘 高3・136期生
生徒会長

どんな挑戦もできる

成城は男子の特性を強みに活かせる教育がある学校です。臨海学校や林間学校など、伝統として受け継がれてきた数々の行事がある一方、任意でカスタマイズできるプログラムが豊富なことも大きな強みです。人それぞれのタイミングで「スイッチが入った時」、その気になればどんな挑戦もできます。私自身、文化祭で有志企画を立ち上げたことがありますが、先生方は私たちのプランを尊重しつつ、やり遂げるまで応援して下さいました。

三光星「知・仁・勇」は、成城生活で身に付ける最も基本的なことを象徴しています。基礎知識、心持ち、そして勇気があればいくらでも輝ける場所、それが明治から続く自由な男子校である成城だと思います。

齋藤 央 高3・136期生
高校バレーボール部 部長

自立していく自覚を持つ

目標は東京都大会でベスト8に入り、関東大会で1勝することです。高校バレーボール部では競技を通じて人間力の成長に重きを置いています。私は部の活動やキャプテンとして行動する中で「自分は大人である」ということを意識しています。そうすることで自分を客観的に見て、必要な行動や責任ある行動がとれるようになり、精神面で自立することができました。また、自分たちに最適な目標を決めてそれに向かうプロセスを考え、短い練習時間で努力することはバレーボール以外の生活でも役に立っています。勉強面においても目標に向かう意識を持って集中して取り組んでいます。

寺尾 文孝 2021年卒・135期生
防衛医科大学校 医学科 入校

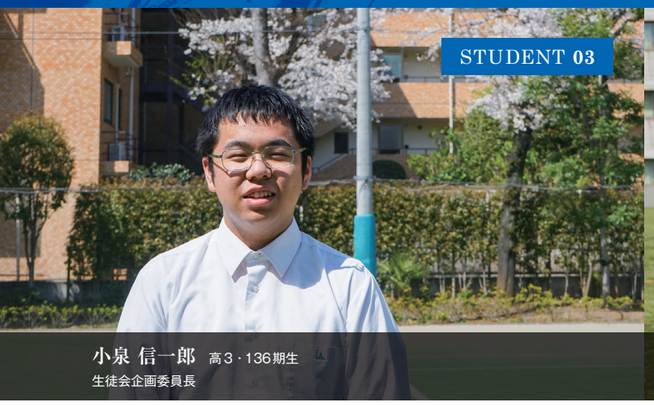
努力を結果につなげてくれる場所

成城では自分を大きく成長させることができたと思っています。入学した頃は英語が全然できなくて、医学部合格は夢のまた夢でした。けれど、成城での勉強を通して苦手科目を克服し、得意科目はさらに伸ばして、無事に医学部に合格することができました。受験の時は何度も成城の施設を利用していました。自修館は閉館日が少なく、静かで使いやすかったです。職員室も先生方に気軽に質問や相談をできる空間になっていて利用しやすかったのでありがたかったです。また、成城の先生方の授業は分かりやすく面白いので、とても受けやすかったです。定期考査の問題もよく考えられていて、受験にとても役立ちました。ここで身に付けた勉強の習慣はこれからの医学部での勉強に役立つと思っています。成城は努力を結果につなげてくれる場所だと思っています。

大竹 遼 2008年卒・122期生
慶應義塾大学 総合政策学部卒／（株）慶應イノベーション・イニシアティブ シニアアソシエイト

“一生の友達と先生”に出会える時間

成城を卒業して10年以上経ちますが、友達や先生とは今も頻繁に会います。成城での日々は、僕にとって一時だけのものではなく、“一生の友達と先生”に出会えた素晴らしい時間でした。卒業後、慶應SFCと楽天を経て、現在は慶應イノベーション・イニシアティブという産学連携ファンドで、ベンチャー企業への投資をしています。仕事柄、様々なビジネスモデルや技術に触れるのですが、今の成城生に触れるのですが、今の成城生にもそういった仕事や大人に触れる機会があればとの思いで、若手OBとの座談会も始めました。この取り組みも成城の友達や先生方と協力し合ってのものです。皆さんもぜひ、“一生の友達と先生”に出会いに来てください。僕たちOBも皆さんと会える日を楽しみにしています。



小泉 信一郎 高3・136期生
生徒会企画委員長

興味関心を深める

南アフリカの文化や歴史に興味を持ち、高校1年の夏休みに、南アフリカに1ヶ月間ボランティア留学をしました。先生方には、留学の選考に係る書類の添削や、面接の練習などを丁寧にしていただきました。夏休みが明けてからは、留学の体験を学校のグローバル報告会で発表したり、現地で得た知見をまとめた論文を執筆したりしました。先生方は課外活動や進路に悩んだ時も、いつでも親身になって助けてくれます。

成城は、やりたいことを精一杯応援してくれる学校です。皆さんもぜひ、勉強や部活動、課外活動など、自分がやりたいことや好きなことを深めてみてください。きっと新たな発見があるはずです。

佐藤 樹 中2・140期生
中学サッカー部

荒井 祐輝 中2・140期生
中学サッカー部

勉強も部活も頑張れる環境

佐藤：成城っていろんな人がいて、その中に必ず馬が合う人がいます。勉強は、最初は成績があまり良くなかったけど、悔しかったので授業の復習をしっかりやるようになって、やった分だけ上がるんだと実感してからは、それを頑張ってキープしてます。部活では体格とか足の速さを活かして、最高のプレーを目指します。

荒井：僕は校舎がきれいなこととか、人工芝のグラウンドもいいなって。勉強も部活も頑張れる環境だと思います。部活では挨拶とか、当たり前のことが当たり前にできるようにと言われているので、日常生活の中でも気をつけています。たくさんの後輩に入ってほしいです。僕自身もボールさばきがもっとうまくなりたいです。

GRADUATES' VOICES 【Q：成城生活はどのようにいきていますか？】

園田 一貴 2004年卒・118期生
慶應義塾大学 商学部卒／公認会計士　GCA FAS株式会社　シニアコンサルタント

「習い」と「実践」

在学中は中高ともテニス部に所属していました。中学では顧問の指示通りに活動していましたが、高校では自分たちでメニューを決めて活動していたことを覚えています。中学で「習い」、高校では「実践」していた6年間でした。

現在は、会社が別の会社を買う手助けをする仕事に携わっています。買収したい会社の財務状況を調査しますが、会社ごとに調査内容が異なるため、ここでも「習い」と「実践」を繰り返し、業務に取り組んでいます。

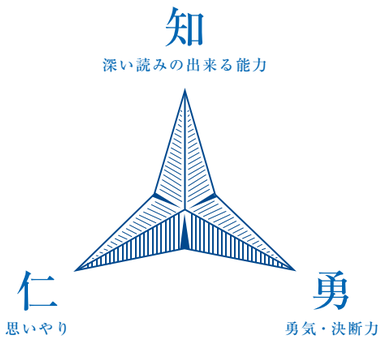
成城は、校訓にある「自治自律」の精神のもと、自ら行動することができるようになるための自由がある学校だと思っています。ぜひ、成城の自由闊達な雰囲気を活かして、様々な経験をしてはいかがでしょうか。

佐藤 可士和 1983年卒・97期生
多摩美術大学 グラフィックデザイン科卒／クリエイティブディレクター

人生最大のターニングポイント

僕の人生で最大のターニングポイントは高校2年生の時だ。当時、大学への進路が見えないままボンヤリと友達と過ごす高校生活だった。進路指導で文系か理系に分かれるということだが、行きたい先が見つからず悶々としていた。子供の頃から絵を描くことが大好きで得意だったのだが、それと大学受験が自分の中で結びついておらず、勝手に文系か理系のどちらかを選ばなければならないと思い込んでいた。学年で一人だけ美術大学を受験するという友人がおり、彼に相談すると、今まで全く思い浮かばなかった美大受験という道が見えてきた。突然の希望の光！これからのことを想像するとワクワクした。それが人生最大の決断で、その日からクリエーターになる道を歩み始めた。高2の時に感じたそのテンションは、今も変わらない。

校章「三光星」



「三光星」の意味するところは
儒教において
基本的な三つの徳とされる
「知・仁・勇」である。

中国の古典『中庸』の「知・仁・勇の三者は達徳なり」より。

校　訓

自学自習　質実剛健

敬愛親和　自治自律

「成城」の由来

校名の「成城」は中国の古典『詩経』大雅編にある「哲夫成城」からとったもの。哲夫とは知徳のすぐれた男子。成城の城は国を指し、国を成すの意。したがって本校の建学の精神は、知徳のすぐれた男子を育て、国家・社会に貢献する人材を輩出することである。明治18（1885）年に日高藤吉郎によって創立された本校は、平成27（2015）年１月15日に130周年を迎えた。

◎ 牛込と成城

本校が立つ「牛込」は新宿区の地域名のひとつ。旧東京市牛込区の範囲を指します。神楽坂や早稲田も牛込に該当し、江戸時代は多くの武家屋敷が軒を連ねる山の手の住宅街でした。

1885年に中央区築地に創立された本校がこの地に移転してきたのは1891年のこと。上皇陛下の外祖父にあたる久邇宮邦彦王が本校に入学されたことをきっかけに、宮内省（現在の宮内庁）から牛込原町の地（現在の校地）を下賜（かし）されました。

牛込には台地が多く、台地の上にある本校の標高は30ｍあまりです。この土地は関東ローム層の強固な地盤でできており、関東大震災に見舞われた際にも、本校の建物にはほとんど影響がなかったと記録が残っています。

また、牛込は夏目漱石などの多くの文豪に愛された土地でもありました。本校の近くにある「夏目坂」は、夏目漱石の生家がこの坂の途中にあったことから名づけられました。漱石自身の随筆である「硝子戸の中」においても、この坂の名前の由来が語られる一節があります。

1913年頃～1970年にかけ、本校近くの大久保通りに都電角筈線（都電13系統）という路面電車が走っていました。最盛期には、新宿から本校・飯田橋・御茶ノ水・秋葉原・人形町を通り水天宮前までを結んでいましたので、本校の生徒もこの都電を利用し、通称「13番」と呼ばれ親しまれていました。

1891年に本校がこの地に根付いて教育に励むようになって、130年もの月日が流れています。

通学にも使われていた都電13系統

伝統を礎に、さらなる革新へ

成城中学校・成城高等学校　校長
岩本 正

創立以来「社会に有為な人材を育成する」という建学の精神が受け継がれてまいりました。
成城が目指す生徒像は校章「三光星」が象徴している「知・仁・勇」を備えた男子リーダーです。

知 深い読みの出来る能力　**仁** 思いやり　**勇** 勇気・決断力

文武両道主義のもと、高い人間力とやり抜く力を備えた生徒の育成を目指します。本校は今年度から中高完全一貫校となります。この利点を生かし、変化する社会状況や、大学入試改革に対応したカリキュラム編成を構築していきたいと考えております。また、脈々と受け継がれる理念をもとに、ここ数年で大きく変化した教育のICT化やグローバル化にも対応していきます。

この時代に社会で様々な人と協働していくためには、様々な手段を用いて自分を表現することが求められます。６年一貫教育の中、中学生から表現力を育む新しいカリキュラムを作成しています。そして、様々な人とのかかわりの入口となるグローバル教育においては、本校が全国に先駆けて始めた「エンパワーメント・プログラム」をはじめ、「オーストラリア・グローバルリーダー研修」「台湾・グローバルリーダー研修」を継続して、内容の充実を図ってまいりたいと考えております。

文武両道の伝統男子校で、夢中になれることを見つけて、それを探究し続けてほしいと願っております。